

令和 5 年度 三好市立学校評価報告書

学校名 (三好市立井川中学校)

作成日 令和6年3月22日

校長名 (井上 清隆)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.5	・校内研修を計画的に行い、教材の捉え方やICTの使い方等について、研修を深めることができた。	・学校だよりやHPで学校の様子がよくわかる。これからも子どもの意欲や可能性の芽を伸ばしていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器や保護者との連絡ツールのより効果的な活用等を通して、教職員の勤務時間の一層の縮減をはかる。 ・スマートフォンやSNSの適正な使い方について、保護者や関係機関と連携を図りながら、その適正化を進める。 ・今後の職員数・P数の減少も考慮し、PTA活動等の見直し・精選を進める。 ・地域の「ひと・もの・こと」を活かした教育活動を一層推進していく。 ・関係諸機関とも連携をはかりながら、ICTの活用、国語力の向上を進め、「主体的・対話的で深い学び」の一層の推進をはかる。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.3	・教職員や月によって、超過勤務が45時間、80時間を越えることもあり、「校務分掌の適正な分担」に課題がある。	・行事など、子どもが主体となって、生き生きと活動できており、有意義な活動となっていた。	
③ 主要な教育活動に関する評価	3.4	・学校教育目標に沿って、学習活動が行われ、行事等においても、生徒の成長につながる学びが見られた。	・教職員の負担や働き方も考慮しながら、部活動などでは、生徒のやる気を活かしていただきたい。	
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.3	・学校だよりや学校HPを通して、教育活動の周知に努めた。地域の教育的な資源を活かした活動を今後とも進めていく必要がある。	・PTA活動や「文化体育後援会」では、PTA戸数の減少もふまえて、見直しをしていく必要があるのではないかな。	
⑤ その他、上記以外に関する評価()	3.2	・タブレットや電子黒板を有効に使った学習を進めることができた。本校の重点課題である、キャリア教育の推進と、国語力の向上については、課題もあった。	・学校の環境整備が十分でないことがあるので、さまざまな伝手を使うようにするとよいのではないかな。	

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90~100 %
 3=達成度が 70~ 90 %
 2=達成度が 50~ 70 %
 1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。

